

平成30年度 数学的活動の充実を図る算数科授業づくり講座 実施要項

1 目 的

教材の本質をとらえるとともに、数学的活動を充実させ、児童の数学的に考える資質・能力を育む授業づくりの研修を行い、その識見と指導力の向上を図る。

2 期 日 平成30年9月25日（火）～9月26日（水）

3 会 場 福島県教育センター （福島市瀬上町字五月田16）

4 日程・内容

日	時 間	内 容
1 日 目	9:40～ 9:50	受 付 ※受付場所 第1棟 4階 141 研修室
	9:50～10:00	開 会 141 研修室
	10:10～12:00	演習・協議 「授業研究Ⅰ」 141・142・143・144・145・146 研修室 ・模擬授業と協議
	13:00～14:45	講 義 「『深い学び』を実現する算数科の授業」 141 研修室 帝京大学 教授 清水 静海
	15:00～16:45	演習・協議 「授業研究Ⅱ」 141・142・143・144・145・146 研修室 ・代表者による模擬授業の検討と協議 ・代表者による模擬授業と協議
	16:45～17:00	諸連絡 141 研修室
2 日 目	8:30～10:00	演習・協議 「授業研究Ⅱ」 141・142・143・144・145・146 研修室 ・代表者による模擬授業の検討と協議 ・代表者による模擬授業と協議
	10:10～13:20 (12:00～13:00) 昼 食	演習・協議 「数学的に考える資質・能力を育む問題と指導の在り方Ⅰ」 141・142 研修室 ・持参した課題の発表と問題の練り上げ
	13:20～14:45	演習・協議 「数学的に考える資質・能力を育む問題と指導の在り方Ⅱ」 ・模擬授業と協議
	15:00～15:15	閉 会 141 研修室

5 準備物等

(1) 書籍及び資料等

- 「小学校学習指導要領解説 算数編」 文部科学省 （平成30年2月以降発行予定。入手できない場合、文部科学省のWebサイトよりダウンロードして印刷し持参すること。）
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 算数】」
平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター
- ふくしまの「授業スタンダード」 平成29年4月 福島県教育委員会
- 担当学年教科書、その他参考資料

(2) 事前課題

- 「授業研究」で使用する学習指導案
 - ア 単元及び内容
 - ・単元についての留意点
 - ※平成29年度全国学力・学習状況調査の算数B3において課題が見られたことを踏まえ

て、下表のうち担当学年の単元の1単位時間の学習指導案を作成する。

学 年	単元番号・単元名	
	【東京書籍】	【教育出版】
1 学年	9 3つのかずのけいさん	11 3つのかずのたしざん、ひきざん
2 学年	8 計算のくふう	3 たし算（たし算のきまり） 4 ひき算（2けた－2けたの計算）
3 学年	6 暗算	2 たし算とひき算（たし算とひき算の暗算、計算のくふう）
4 学年	8 計算のきまり	6 式と計算
5 学年	10 単位量あたりの大きさ（①平均）	8 平均
6 学年	13 資料の調べ方	12 資料の調べ方

イ 様式等

・（様式1）

※下記の例のように、A4判縦置きで、冒頭に学校名、氏名、授業改善のためのテーマを記載し、以下は各学校の形式で作成するが、板書計画を必ず記載すること。

※下中央に頁番号を記載する。

(様式1)			
学 校 名	〇〇〇立〇〇小学校	氏 名	
授業改善のためのテーマ			
第〇学年〇組 算数科学習指導案			

ウ 提出方法

・9月11日（火）必着

・Emailで送付（下記「8 問い合わせ先（2）研修内容について」へ）

※件名を「小専門算数－課題」とし、本文には所属校と氏名を入力する。

・研修当日、送付した資料を受付時に22部提出

※両面印刷し、複数枚数の場合には、左上一か所留めとする。

エ その他

・模擬授業で使用する資料等があれば研修当日に6部持参

○ 「数学的に考える資質・能力を育む問題と指導の在り方」で使用する資料

ア 内容

・平成29年度全国学力・学習状況調査 算数B3の改題

※下記【改題作成上の留意点】を踏まえて作成する。

【改題作成上の留意点】 ・原題の出題の趣旨や問題の本質をとらえて問題を考える。 ・全国学力・学習状況調査は5学年までの学習内容が出題されているが、本事前課題では改題の幅を広げ、小学校の学習内容をすべて終えた時期に実施することを想定する（6学年の学習内容を入れてもよい）。 ・小問を(1)、(2)とし、(2)の方が難易度の高い問題となるように作成する。 ・原題の数値を変えるだけなどの改題とならないように注意する。 ・平成29年度全国学力・学習状況調査報告書p77～83を参照する。

イ 様式等

・（様式2）

※下記の例のように、冒頭に学校名、氏名を記載し、A4判縦置き1枚程度にまとめる。

(様式2)

学 校 名	〇〇〇立〇〇小学校	氏 名	
-------	-----------	-----	--

- 1 改題の方針やねらい
- 2 改題した問題
- 3 改題の解答・解説

ウ 提出方法

- ・ 9月11日（火）必着
- ・ Emailで送付（下記「8 問い合わせ先（2）研修内容について」へ）
※件名を「小専門算数－課題」とし、本文には所属校と氏名を入力する。
- ・ 研修当日、送付した資料を受付時に22部提出
※両面印刷し、複数枚数の場合には、左上一か所留めとする。

(3) その他

- 共済組合員証、上履き、部屋着、洗面用具等
- 食費 1,620円（1泊2日）
（食事単価：朝食320円 昼食390円 夕食520円）

6 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退をするときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
- (2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。
なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。
- (3) 宿泊研修は、原則として全員宿泊とする。なお、詳細は「宿泊棟生活のしおり」を参照すること。
※「駐車場案内図」と「宿泊棟生活のしおり」は、教育センターWebサイトで確認すること。

7 宿泊研修者の夕食の取扱いについて

宿泊研修の食事は全員全食とするが、やむを得ず夕食を必要としない場合は、次のとおりとする。

- (1) 9月18日（火）までに、別紙様式5-1（「平成30年度研修講座案内」P.19参照）により「宿泊研修における夕食の変更届」を作成し、Emailで提出する（期限厳守）。
- (2) 前記(1)の期限後の変更はできない。
- (3) 食事代は、前記(1)に係る不必要夕食分を除いて該当講座の2日目の朝に納入する。

8 問い合わせ先

(1) 欠席等について

福島県教育センター 総合企画チーム
TEL 024-553-3193 FAX 024-554-1588
Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp

(2) 研修内容について

福島県教育センター 教員研修チーム 算数科担当
TEL 024-572-4183 FAX 024-554-1588
Email kyouin-kenshu30-gr@fcs.ed.jp